

トキと共生する佐渡の里山

～トキの舞う里を未来へ受け継ぎたい～



世界農業遺産

平成23年6月認定

新潟県佐渡市

トキとの共生を目指し、田んぼの生態系に配慮した「生きものを育む農法」の取り組みや棚田などの美しい景観、昔から受け継がれている伝統的な農文化が評価され、世界農業遺産に認定されています。この佐渡の農業や豊かな環境を守り、次の世代に継承していくことを目指して整備を進めます。



伝承された水稻農業



「佐渡島の金山」の繁栄により海沿いから山深くまで開発された美しい棚田風景。島内各地で現在も稲作が行われています。

受継がれる伝統文化



農業の儀式から様々な伝統文化的習慣が発展し、現在も継承されています。鬼太鼓は約120集落、能舞台は34棟が現存しています。

トキと共生する佐渡の里山



トキと共生する農業



生きものの生息環境を田んぼの中に作り出し、トキの餌場を確保する「生きものを育む農法」が広く行われています。

(写真：江(深み)の設置)



「生きものを育む農法」などを行った田んぼを佐渡市が認証します。そこで育ったお米は「朱鷺と暮らす郷」という名称で高付加価値販売されています。

世界(又は日本)農業遺産認定による効果

農林水産業

認証米のブランド力向上と販路拡大

- ・朱鷺と暮らす郷づくり認証制度のブランド力向上のため、要件の検討、PRイベントの実施、普及啓発活動を展開
- ・販路拡大のため、米穀専門店を中心とした営業活動のほか、佐渡産品を取扱う「サドメシラン」の普及拡大活動を展開



- 朱鷺と暮らす郷認証農家数 : 256戸 (H20) → **366戸** (R5)
- 朱鷺と暮らす郷認証面積 : 426ha (H20) → **1,140ha** (R5)
- 農業法人等組織化数 : 28団体 (H23) → **58団体** (R5)
- 新規就農者数 : 14名 (H24) → **延べ189名** (R5)
- 朱鷺と暮らす郷販売米穀専門店の店舗数 : 150店舗 (H23) → **255店舗** (R5)
- サドメシラン店舗数 : 18店舗 (H26) → **124店舗** (R5)

観光

『トキと共生する里山』を巡る交流人口の増加

- ・国内で初めて世界農業遺産に認定された島の農業システムを確認に訪れる交流人口の拡大に向け、PRイベントの実施、ツアーの造成、ブランドマークの開発、田んぼアートの実施
- ・島で幅広く活動する「地域おこし協力隊」の多くが、任期を終えた後も島に残って暮らしている



▲田んぼアートの実施

- 世界農業遺産の認知度(島内) : - (H25) → **70.7%** (R3)
- トキの森公園来場数 (H23から累計) : 3,107,367人 (H23) → **4,767,615人** (R5)
- 佐渡棚田協議会の会員数 : 17人 (H24) → **79人** (R5)
- 佐渡市世界農業遺産ブランドマーク申請件数 (延べ) : - (H23) → **126件** (R5)
- 田んぼアートイベント (田植え・稲刈り) 参加人数 : - (H23) → **約220人** (R5)
- 地域おこし協力隊採用人数 (延べ)、定着率 : 4人 (H24) → **48人** (R3) 定着率**62.2%** (R5)

次世代への継承

農文化で育まれた伝統芸能の継承

- ・国内の3分の1ともいわれる能舞台が現存し演能が行われるほか、五穀豊穡などを願いながら継承してきた伝統芸能が残っている



▲伝統芸能「鬼太鼓」

- 能舞台現存数 : 35棟 (H23) → **34棟** (R5)
- 鬼太鼓保存件数 : 約120件 (H23) → **約120件** (R5)

子どもたちへの環境教育、食育教育

- ・身近な田んぼや川など、見慣れた風景が守られてきた仕組みや取組みを学ぶ教育活動を推進するとともに、給食に地場産品を使った食育から農業を学ぶ取組みが進んでいる

- 環境教育(トキ)を取り入れている島内学校 : - (H23) → **13校** (R5)
- 佐渡Kids生きもの調査隊の隊員数 : - (H23) → **26人** (R5)
- 島内小中学校給食における認証米使用率(米粉含む) : - (H23) → **100%** (R5)

生物多様性の推進

生物多様性を支える仕組みや取組み

- ・トキと人が共生できる里山環境を保全・再生するため、トキをシンボルとした多くの生きものが棲む安全・安心な農法を追求



▲年に2回実施する「生きもの調査」

- ・生きものを育む農法、生きもの調査といった取組みが浸透し、トキのエサ場となる生物多様性豊かな田んぼが保たれ、野性下のトキ個体数が増加している

- 野生下のトキの個体数(推定) : 49羽 (H23) → **532羽** (R5)
- トキ環境整備指定寄附金額 (H23から累計) : 7,668千円 (H23) → **95,304千円** (R5)
- トキファンクラブ会員数 (H23年から累計) : 4,181名 (H23) → **8,801名** (R5)
- 生物多様性の認知度 : - (H23) → **81.7%** (R3)